

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- ・商品仕入れ先・物流配送委託先・担当販売店・その他の各取引先への、データ・情報・知見の共有・可視化、IT・AIなどのテクノロジー活用とDX推進・各種ツールの利用機会の提供、その他の支援・連携を通じて、業務の効率化と取引先・お客様の満足度向上の両立を図ります。
- ・また、各取引先との共創を通じて、環境・社会課題の解決を目指す、新たな商品の開発、新規サービス・事業の創出に取り組みます。

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

3. その他（任意記載）

- ・当社グループは、「サステナビリティ基本方針」として「私たちアスクルグループは仕事場とくらしと地球の明日を支える企業として 志を同じくする仲間と共にグループ自らの成長を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。」と定め、取引先との共創に取り組みます。
- ・また、お客様への安心・安全な商品のご提供を持続可能にするために、全てのお取引先様と協働して実現する項目・取組みとして「アスクル サステナブル調達方針」を定めるとともに、「アスクル環境方針」「アスクル グループ人権方針」を策定・公表し、「社会的責任の遂行」と「サプライチェーン全体の持続的発展」の両立を目指します。
- ・「ホワイト物流」推進運動に賛同し、持続可能な物流の実現に向けた「自主行動宣言」を提出し、取引先と協働で環境負荷低減、労働生産性向上に取り組みます。

2026年8月6日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

アスクル株式会社

企 業 名

代表取締役 CEO 成松 岳志

役職・氏名（代表権を有する者）